

お金のむこうに人がある——元ゴールドマン・サックス金利トレーダーが書いた 予備知識のいらない経済新…

お金の  
むこう  
に  
人  
がいる

元ゴールドマン・サックス金利トレーダーが書いた  
予備知識のいらない経済新入門

ダイヤモンド社

読書の速さを測定中

1%



お金のむこうに人がいる――元ゴールドマン・サックス金利トレーダーが書いた 予備知識のいらない経済新…

この本は縦書きでレイアウトされています。  
また、ご覧になる機種により、表示の差が認められることがあります。  
本作品を電子書籍版に収録するにあたり、一部の漢字が簡略体で表記されている場合があります。



読書の速さを測定中

1%



お金のむこうに人がいる——元ゴールドマン・サックス金利トレーダーが書いた 予備知識のいらない経済新…

はじめに

経済の専門用語は

「ごまかす時」に使われる

「部屋の中に母と娘の親子が2組いる。しかし3人しかいない。どうしてだろうっ。」

子どもの頃、『頭の体操』という本を読むのが好きだった。本の中に、このような趣旨の問題があったことを覚えている。

常識にとらわれていると解けない「謎」が次々に出題される本だった。この謎の正解は、「部屋の中には、娘、母、祖母の3人がいたから」だ。部屋には「娘と母」「母と祖母」の2組の親子がいたのだ。

この本の謎はすべて、答えにたどり着くために特別な知識は必要なかった。どの謎を考えるとときも、子どもも大人も、みんな同じスタートラインに立つことができた。

いちばん深刻な経済問題

大人になって、ある晩テレビをつけると、経済の専門家たちが討論をしていた。

金利政策を変えることが経済に及ぼす問題について語っている。すぐにテレビのチャンネルを変えた。つまらない経済の話は専門家に任せておいて、クイズ番組でも観ていたほうがずっと楽しいから。クイズ番組にしても『頭の体操』にしても、「問題」を出されるとつい考えなくなってしまう。それなのに、「経済の問題」は専門家任せにしたいくなる。

